

留学生のための茶の湯体験教室 実施報告

(2020年1月11日実施 於YNU大岡インターナショナルレジデンス)

横浜国大部会 行事幹事
佐々木隆雄(日本製鋼所OB)

年2回企画することでスタートしたこのイベントはもう4年目で、8回目となる今回は昨年同様新年にはいつからの実施となりました。お正月らしさを留学生に見せるためのちょっとした趣向・工夫が生きた体験教室だったと思います。1月11日(土)会場である大岡インターナショナルレジデンス1階の和室のある部屋に午後1時ころから私たち3名の幹事と見学のため訪れた会員1名、講師の方々7名で準備開始、1時15分ごろには留学生が集まり始め2時から開始しました。参加留学生は女性13名、男性4名の17名(体調不良、学業の都合で不参加となった4名のうち3名が男性だったこともありいつもより男性の参加が少なくなりました)でした。

まずは茶の湯の歴史、体系化した千利休の茶の湯に関わる信念の説明、基本となるマナー(正座、畳の上の移動、箸の持ち方・使い方)の習得、茶室にある重要な床の間の紹介(華麗でなくすがすがしさとさりげなさを考慮した生け花、掛け軸—器具を使ってかける動作も紹介)が終わりいよいよ実技です。今回は参加者を1グループ3名の6班に分け(不足の1名は会員が交代で参加)、茶をたてる、菓子を食べ、茶を喫する、和菓子を作る、体験中の学生の写真を撮る体験&役割を班ごとにするというローテーションするやり方で進めました。



(茶をたてる)

お正月らしさは、床の間の掛け軸にも見て取れました。当然季節を意識したものになりますが、今回はめでたい色の組み合わせである紅白(赤と白)の花をすがすがしい色使いで表現したものでした。茶の湯に供した菓子は、和菓子作りでは練り切りものを選んでいたので、白みがかかった本体に初夢で縁起が良いとされる富士山と太陽の形の赤みがかかったあんを入れ込んだようかんを選んだこと、和菓子作りは赤白のツバキの花をイメージした練り切り(米粉、砂糖、小豆が主要原料)で一片の葉を添えた可愛らしい創作菓子でした。



(和菓子作り)

千利休の唱えた「わび、さび・質素、華麗さを誇らない美」の通り簡素なるも安心感のある堅実な道具立ての茶の湯体験教室+和菓子作りでしたが、いつもながらの和気あいあいのうちにあっという間に時間が過ぎて、最後に集合写真を撮って4時ちょっと前に解散となりました。

参加したMs. Adeline Laurino/USA, JOYプログラムより感想文をいただきました。下記に添付しますので一読いただきたいと思います(日本語訳はこの報告書の筆者によるものです。)

Adelineさんの感想文:

I had a wonderful time at the tea ceremony and would recommend to any international students wanting to learn more about Japanese culture. Not only did I learn how to make tea, I also learned other parts of the tea ceremony that I was not familiar with. Learning the etiquette on how to maneuver around the tatami mats and how to make Japanese confections were new to me. Also, I appreciated knowing the Japanese history behind tea making. I will remember the proper names for the items used, like natsume for tea box. I am grateful for the organizers who made such an informative and fun event and am glad that I had participated.

日本語訳:

私はこの茶の湯体験で楽しい時を過ごしました。日本文化についてもっと知りたいと考えている留学生の皆さんにお勧めしたいと思います。実際にお茶をどのようにたてるということばかりでなく、何も知らなかった茶の湯にまつわる他の面も知ることができました。畳の上でどのように正座、動くとかのマナーを知ること、また和菓子を作るということは本当に初めての経験でした。日本での茶をたてる・飲むの背景である歴史についても知ることができました。茶入れ・茶筒を「なつめ」というように他の道具の正しい名称を覚えたいと考えています。このような有益でかつ楽しいイベントを計画していただいた皆様に感謝し、参加したことを本当に喜んでいることを伝えたいと思います。

以上



(茶の湯の歴史、マナー教育)



(組になってお茶の作法を学ぶ)